変額個人年金保険(ステップアップⅡ型)【無配当】「Q’sパレット」
変額個人年金保険(Ⅱ型)【無配当】「Q’sパレットα」

特別勘定の月次運用実績レポート

2026 年 8 月度

＜目次＞

1. 特別勘定の種類 1 ページ
2. 運用環境の主な状況 2 ページ
3. 特別勘定の運用実績・状況 3-4 ページ
4. ［参考情報］投資信託の運用実績・状況 5-12 ページ
5. 当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項 13 ページ

［募集代理店］

株式会社荘内銀行

荘内銀行 SHOGIN

［引受保険会社］

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
月～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00
（日・祝日および12月31日～1月3日を除く）
www.axa.co.jp

当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしておりません。
当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の種類（Q'sパレット/Q'sパレットα）

※ファンド名末尾がⅡとなっているものは、Q'sパレットαのファンド名になります。

特別勘定［ファンド］名	運用方針	主な運用対象の投資信託	投資信託の委託会社
日本株式型/日本株式型Ⅱ	日本の経済および産業構造の中長期的展望に基づき、今後有望とみられる成長産業、成長企業の国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって東証株価指数を中長期的に上回る投資成果をあげることを目標にします。	シュローダー日本株式オープンVA（適格機関投資家専用）	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社
日本中小型株式型/日本中小型株式型Ⅱ	日本の経済および産業構造の中長期的展望に基づき、今後有望とみられる中小型企業の国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、中長期的に高い投資成果をあげることを目標にします。	アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンドVA（適格機関投資家専用）	アムンディ・ジャパン株式会社
海外株式型/海外株式型Ⅱ	日本を除く世界各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによってMSCI KOKUSAI インデックス（円換算ベース）に連動した投資成果をあげることを目標にします。	外国株式インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）	大和アセットマネジメント株式会社
海外債券型/海外債券型Ⅱ	日本を除く世界各国の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動した投資成果をあげることを目標にします。	外国債券インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）	大和アセットマネジメント株式会社
ハイブリッド・バランス型/ハイブリッド・バランス型Ⅱ	複数の投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式、債券および為替取引等ならびにこれらに関連する派生商品（先物取引およびオプション取引等）に積極的に分散投資を行うことにより、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。	ユナイテッド・マルチ・マネージャー・ファンド1（愛称：新・フルーツ王国）	ファイブスター投信投資顧問株式会社
世界分散型/世界分散型Ⅱ	世界各国の株式、公社債および日本を除く世界各国の不動産投資信託（REIT=Real Estate Investment Trust）を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって、中長期的に高い投資成果をあげることを目標にします。基本配分は、国内株式20%、外国株式30%、国内債券10%、外国債券30%、不動産投資信託（REIT）10% としますが、市況の見通しに応じて機動的な変更を行うことがあります。市況動向等を勘案して為替ヘッジを行うことがあります。	大和住銀世界資産バランスVA（適格機関投資家限定）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
		ノムラ海外REITインデックス・ファンドVA（適格機関投資家専用）	野村アセットマネジメント株式会社
マネープール型/マネープール型Ⅱ	他の特別勘定で運用している資金の一時退避を目的とし、国内の公社債および短期金融商品等を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、安定した投資成果をあげることを目標とします。	フィデリティ・マネー・プールVA（適格機関投資家専用）	フィデリティ投信株式会社

※特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。
※特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。
※変額個人年金保険（ステップアップⅡ型）には複数の特別勘定グループが設定されており、「Q'sパレット」には「特別勘定グループ（荘銀型）」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ（荘銀型）」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ（荘銀型）」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
※変額個人年金保険（Ⅱ型）には複数の特別勘定グループが設定されており、「Q'sパレットα」には「特別勘定グループ（荘銀Ⅱ）」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ（荘銀Ⅱ）」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ（荘銀Ⅱ）」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
※「マネープール型」「マネープール型Ⅱ」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下（マイナス金利を含む）では、「マネープール型」「マネープール型Ⅱ」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

運用環境の主な状況

（2026年8月末現在）

■ 日本株式市場

TOPIX（東証株価指数）は前月末比+3.82%の4,156.29ポイントとなりました。８月の日本株式市場は、経済指標の弱さなどを背景に米国の早期利上げ観測が後退したことや、米国とイランの対話進展期待などから、AI（人工知能）・半導体関連株を中心に、月半ばまで上昇基調となりました。その後、金融政策を巡る不透明感や米ハイテク株の調整等を背景に利益確定売りが優勢となる場面がみられましたが、国内企業の堅調な業績や銀行・内需関連株への資金流入が相場を下支えし、TOPIXは上昇して月末を迎えました。

日本小型株式市場は上昇しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場では、NYダウ工業株30種が前月末比+1.34%の53,185.90ドルとなりました。８月の米国株式市場は、主要企業の堅調な四半期決算や米国経済の底堅さを背景に上昇しました。一方で、長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格上昇が投資家心理の重荷となり、月末には利益確定売りが優勢となる場面もみられましたが、AI関連を含むテクノロジー企業の業績拡大期待が相場を支え、NYダウ工業株30種、S&P500、ナスダック総合の３指数とも堅調に推移しました。

欧州株式市場では、独DAX指数が前月末+2.45%、仏CAC40指数が前月末比−2.06%となりました。８月の欧州株式市場は、企業業績の改善や景気回復期待などを背景に底堅く推移しました。一方で、中東情勢の悪化に伴うエネルギー価格上昇や金利上昇への警戒感が相場の重石となり、国によってまちまちな値動きとなりました。

新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場は下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には2.957%となりました（前月末2.805%）。８月の日本債券市場は、日銀による金融政策の正常化が継続するとの見方に加え、国内物価の底堅い推移や賃金上昇を背景とした追加利上げ観測等から、長期金利が上昇する展開となりました。また、米国の長期金利上昇や中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格上昇がインフレ懸念を高め、日本国債の売り圧力につながり金利は上昇しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では、米10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には4.750%となりました（前月末4.735%）。８月の米国債券市場は、弱い経済指標の発表を受けFRB（連邦準備制度理事会）による早期利上げ観測が後退し、金利は月央にかけ低下基調となりました。また、米財務省が長期債の買い戻し枠を拡大する方針を示したことで金利の低下に拍車をかける場面も見られました。しかし、その後は中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇や根強いインフレ懸念等を背景に長期金利は高止まりとなる中、月末近くにウォーシュFRB議長がインフレ懸念を表明したこともあり、月間で金利は上昇となりました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には3.324%となりました（前月末3.206%）。８月の欧州債券市場は、エネルギー価格上昇に伴うインフレ懸念や米国金利の上昇などを受けて、長期金利は上昇する展開となりました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比−0.70円の160.02円となりました。８月の米ドル/円相場は、米国の長期金利が高水準で推移したことや、FRBによる早期利上げ観測が懸念される中、月中は円安・米ドル高基調で推移しました。しかし月末にかけては、日銀の追加利上げ観測や円安是正への警戒感が高まり、円を買い戻す動きが優勢となったことから、月間では小幅な円高・米ドル安となりました。

ユーロ/円相場は前月末比+0.38円の185.50円となりました。８月のユーロ/円相場は、欧州の景気見通し改善やインフレの根強さなどを背景に、ECB（欧州中央銀行）の金融政策が引き締め的に維持されるとの見方からユーロ買いが優勢となり、月間では対円で小幅上昇となりました。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

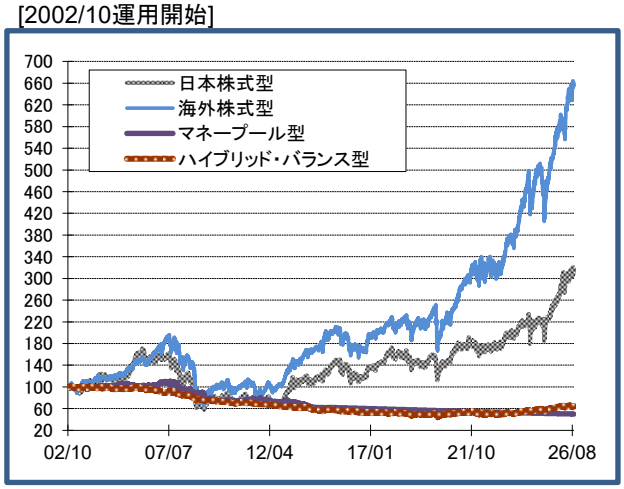
特別勘定の運用実績・状況（Q'sパレット）

(2026年8月末現在)

■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

[2002/10運用開始]



[2004/07運用開始]

[2008/01運用開始]

特別勘定名	ユニット・プライス 2026年8月末	騰落率（%）					
		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
日本株式型	317.09	2.55	2.95	1.76	28.99	60.09	217.09
日本中小型株式型	472.17	△ 1.68	2.05	2.64	32.92	76.47	372.17
海外株式型	660.47	2.56	2.75	11.56	26.40	73.98	560.47
海外債券型	143.36	△ 0.22	△ 0.79	△ 0.54	7.90	14.10	43.36
ハイブリッド・バランス型	64.54	1.87	△ 0.96	△ 0.23	6.95	22.71	△ 35.46
世界分散型	285.80	1.79	△ 0.17	4.50	20.71	44.98	185.80
マネープール型	50.05	△ 0.12	△ 0.38	△ 0.79	△ 1.61	△ 5.16	△ 49.95

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。
※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページにて各営業日にご確認いただけます。
※2014年4月17日、「ハイブリッド株式型」は廃止となり、「ハイブリッド株式型」の特別勘定資産は「マネープール型」に移転されました。
　ユニット・プライスと特別勘定資産内訳は、4月17日までは「ハイブリッド株式型」、4月18日以降は、「マネープール型」の数値を表示しています。

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

	日本株式型		日本中小型株式型		海外株式型		海外債券型		ハイブリッド・バランス型	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	1,792	4.4	423	6.8	1,774	4.4	661	4.4	409	4.3
その他有価証券	39,248	95.6	5,837	93.2	38,583	95.6	14,512	95.6	9,167	95.7
合計	41,041	100.0	6,261	100.0	40,357	100.0	15,173	100.0	9,577	100.0

	世界分散型		マネープール型	
	金額	%	金額	%
現預金・その他	549	4.3	140	7.5
その他有価証券	12,342	95.7	1,734	92.5
合計	12,891	100.0	1,875	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

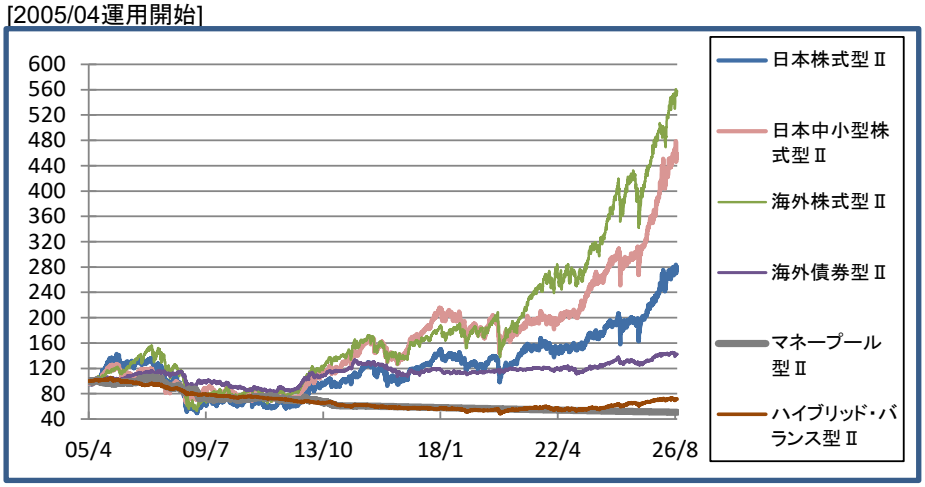
特別勘定の運用実績・状況（Q'sパレットα）

(2026年8月末現在)

■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

[2005/04運用開始]



[2008/01運用開始]

特別勘定名	ユニット・プライス 2026年8月末	騰落率（%）					
		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
日本株式型Ⅱ	280.36	2.59	2.88	1.77	29.14	61.13	180.36
日本中小型株式型Ⅱ	458.71	0.47	2.75	1.66	31.68	74.94	358.71
海外株式型Ⅱ	557.51	2.64	2.78	11.71	26.70	75.33	457.51
海外債券型Ⅱ	142.44	△ 0.17	△ 0.74	△ 0.41	8.15	15.12	42.44
ハイブリッド・バランス型Ⅱ	71.79	1.90	△ 0.90	△ 0.12	7.19	23.99	△ 28.21
世界分散型Ⅱ	297.84	1.91	△ 0.09	4.82	21.76	42.36	197.84
マネープール型Ⅱ	50.76	△ 0.09	△ 0.31	△ 0.64	△ 1.31	△ 4.28	△ 49.24

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。
※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページにて各営業日にご確認いただけます。
※2014年4月17日、「ハイブリッド株式型Ⅱ」は廃止となり、「ハイブリッド株式型Ⅱ」の特別勘定資産は「マネープール型Ⅱ」に移転されました。
ユニット・プライスと特別勘定資産内訳は、4月17日までは「ハイブリッド株式型Ⅱ」、4月18日以降は、「マネープール型Ⅱ」の数値を表示しています。

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

	日本株式型Ⅱ		日本中小型株式型Ⅱ		海外株式型Ⅱ		海外債券型Ⅱ		ハイブリッド・バランス型Ⅱ	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	986	4.2	47	4.5	1,536	4.3	947	4.4	27	4.3
その他有価証券	22,309	95.8	1,007	95.5	34,124	95.7	20,367	95.6	611	95.7
合計	23,295	100.0	1,054	100.0	35,660	100.0	21,314	100.0	639	100.0

	世界分散型Ⅱ		マネープール型Ⅱ	
	金額	%	金額	%
現預金・その他	7	1.2	55	14.2
その他有価証券	622	98.8	338	85.8
合計	629	100.0	394	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

日本株式型/日本株式型Ⅱ

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2026年8月末現在）

シュローダー日本株式オープンVA（適格機関投資家専用）
シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

主として、わが国の株式等に実質的に投資することにより、信託財産の成長を目標として積極的な運用を行います。株式の投資にあたっては、企業業績、収益成長力、市場性、株価水準等を勘案し、中長期的に成長性の見込める銘柄を中心に投資を行います。株式等の実質組入比率については原則としてフルインベストメントで積極的な運用を行います。資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

■ 純資産総額

2 億円

■ 設定日

2002年9月30日

■ 基準価額（税引前分配金再投資）・ベンチマーク（BM）騰落率

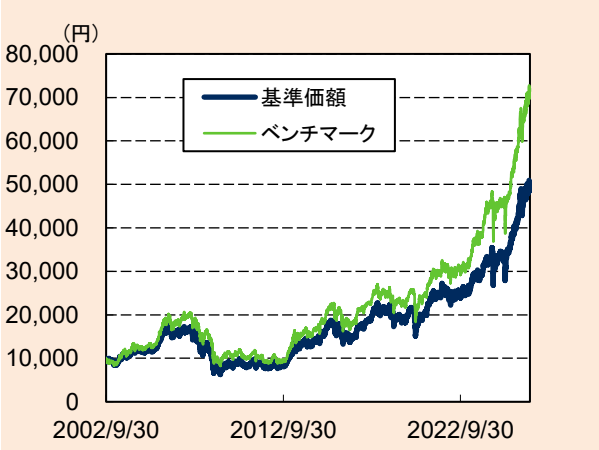
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.84	3.42	2.63	32.70	72.19	403.40
BM	3.85	5.17	6.77	38.28	91.24	620.87
差異	△ 1.01	△ 1.75	△ 4.14	△ 5.58	△ 19.05	△ 217.47

※表示桁数未満四捨五入

■ ベンチマーク

TOPIX（東証株価指数、配当込み）

■ 基準価額の推移



※基準価額は税引前分配金を再投資した場合。

■ 株式銘柄上位5

組入銘柄数69

	銘柄	業種	%
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.4
2	ゆうちょ銀行	銀行業	4.6
3	三菱電機	電気機器	4.3
4	ソニーグループ	電気機器	4.3
5	キーエンス	電気機器	3.3

■ 株式業種別上位5

	業種	%
1	電気機器	22.6
2	銀行業	12.9
3	情報・通信業	7.9
4	保険業	7.7
5	機械	7.6

■ 対TOPIXオーバーウェイト業種

	業種	ウェイト	TOPIX
1	保険業	7.7	3.4
2	建設業	5.2	2.0
3	電気機器	22.6	20.6
4	機械	7.6	5.7
5	その他金融業	3.1	1.2

■ 対TOPIXアンダーウェイト業種

	業種	ウェイト	TOPIX
1	卸売業	3.6	7.4
2	サービス業	1.0	4.4
3	食料品	0.7	2.8
4	小売業	1.7	3.8
5	医薬品	1.7	3.3

※上記の各ウェイトは投資信託の純資産総額に対する実質比率で表示しています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

日本中小型株式型/日本中小型株式型Ⅱ

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2026年8月末現在）

アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンドVA（適格機関投資家専用）
アムンディ・ジャパン株式会社

■ 投資信託の特徴

アムンディ・ターゲット・ジャパン・マザーファンド受益証券への投資を通して、国内株式に分散投資を行うことにより、積極的に収益の獲得を目指します。このほか、わが国の金融商品取引所に上場されている株式および金融商品取引所に準ずる市場に上場されている株式を投資対象とします。企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度（バリュー）に着目した銘柄選択を行い、さらに株主価値の増大を図る余力があると思われる銘柄を厳選し投資します。

■ 純資産総額

0.1 億円

■ 設定日

2004年7月2日

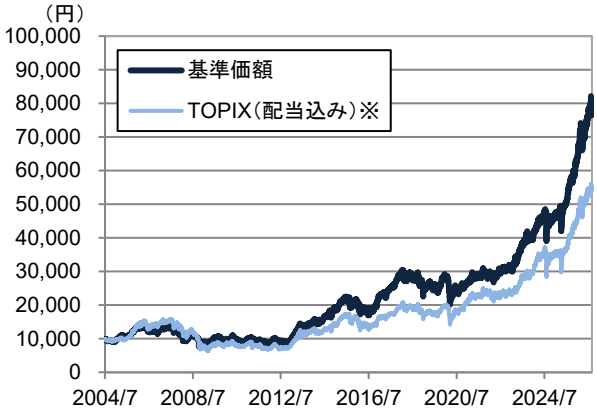
■ 基準価額・ご参考 騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.63	4.94	6.05	40.23	95.08	686.39
TOPIX（配当込み）※	3.85	5.17	6.77	38.28	91.24	455.69
差異	△ 3.22	△ 0.23	△ 0.72	1.95	3.84	230.70

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移



※TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマークではありません。また、パフォーマンス評価の基準となるものでもありません。
基準価額は信託報酬控除後です。右記グラフのTOPIX（配当込み）は、設定日を10,000として指数化して表示しております。

■ 株式組入上位10銘柄

組入銘柄数：90

	銘柄	市場	業種	%
1	TOPPANホールディングス	東証プライム	その他製品	4.5
2	マツダ	東証プライム	輸送用機器	3.8
3	八十二長野銀行	東証プライム	銀行業	3.3
4	ジェイテクト	東証プライム	機械	3.1
5	日本電気硝子	東証プライム	ガラス・土石製品	3.0
6	TBSホールディングス	東証プライム	情報・通信業	2.8
7	SUBARU	東証プライム	輸送用機器	2.7
8	リコー	東証プライム	電気機器	2.5
9	武蔵野銀行	東証プライム	銀行業	2.1
10	スズケン	東証プライム	卸売業	2.0

■ 組入上位10業種

	業種	%
1	電気機器	13.9
2	輸送用機器	11.6
3	銀行業	8.8
4	機械	8.8
5	化学	6.8
6	その他製品	5.0
7	建設業	5.0
8	ガラス・土石製品	4.7
9	食料品	4.6
10	小売業	3.7

■ 市場別構成比

市場	%
東証プライム	89.2
東証スタンダード	7.0
東証グロース	0.0
その他市場	0.7
現金・その他	3.1

表中の比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。組入銘柄数は、マザーファンドが組入れている株式の銘柄数です。
業種は、東証33業種分類によるものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

海外株式型/海外株式型Ⅱ

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

外国株式インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）

大和アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資を行い、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行います。
実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■ 純資産総額

1,124.29 億円

■ 設定日

2024年2月15日

■ ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

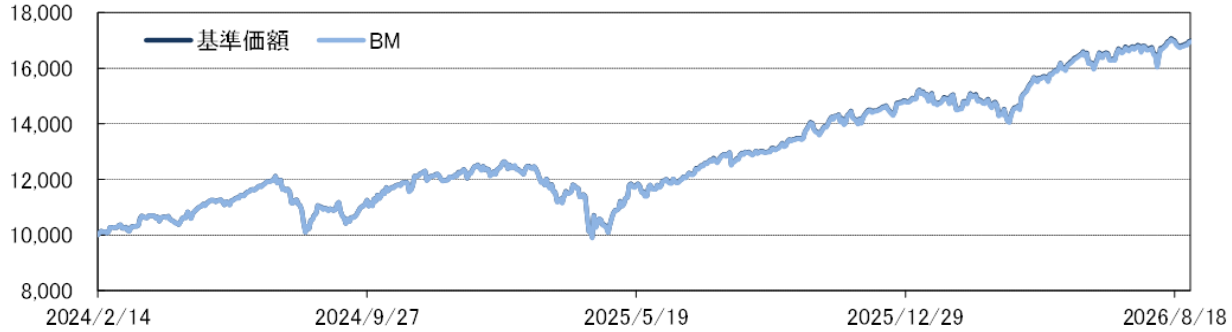
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.90	3.38	13.30	30.52	---	69.88
BM	2.97	3.42	13.29	30.47	---	69.56
差異	△0.07	△0.04	0.01	0.05	---	0.32

※「基準価額騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※基準価額は信託報酬控除後のものです。
※MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）は、MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）
※当ファンドはベンチマークを上回る運用成果を保証するものではありません。
※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：　1,112

	銘柄名	国・地域名	業種	%
1	NVIDIA	アメリカ	情報技術	5.60%
2	APPLE	アメリカ	情報技術	5.23%
3	MICROSOFT	アメリカ	情報技術	4.04%
4	AMAZON COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	2.87%
5	ALPHABET CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.25%
6	BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	1.85%
7	ALPHABET CLASS C	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.77%
8	META PLATFORMS CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.41%
9	MICRON TECHNOLOGY	アメリカ	情報技術	1.17%
10	TESLA INC	アメリカ	一般消費財・サービス	1.09%

■ 株式組入上位5ヶ国 (%)

1	アメリカ	76.58%
2	イギリス	3.71%
3	カナダ	3.66%
4	ドイツ	3.10%
5	フランス	2.31%

■ 株式組入上位5業種 (%)

1	情報技術	29.29%
2	金融	15.60%
3	資本財・サービス	9.87%
4	ヘルスケア	9.10%
5	一般消費財・サービス	8.11%

※ 比率は純資産総額に対するものです。
※ 外国株式が含まれる場合、外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。
※ 業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

海外債券型/海外債券型Ⅱ

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

外国債券インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）

大和アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除く世界各国の公社債に投資を行い、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行います。
実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■ 純資産総額

32.14 億円

■ 設定日

2024年2月22日

■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

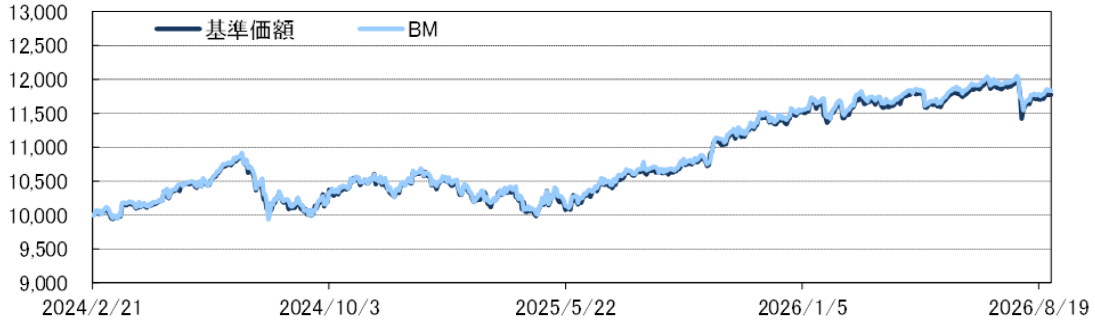
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.04	△ 0.11	0.73	10.81	---	17.74
BM	0.88	0.02	0.58	10.99	---	18.38
差異	△ 0.93	△ 0.13	0.14	△ 0.18	---	△ 0.64

※「基準価額騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※基準価額は信託報酬控除後のものです。
※FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）
※当ファンドはベンチマークを上回る運用成果を保証するものではありません。
※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	クーポン(%)	償還日	%
1	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	アメリカ	3.500	2028/01/31	0.42%
2	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	2.875	2028/05/15	0.41%
3	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	アメリカ	4.625	2035/02/15	0.39%
4	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	アメリカ	3.875	2034/08/15	0.36%
5	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	アメリカ	4.500	2033/11/15	0.36%
6	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	アメリカ	4.125	2036/02/15	0.36%

■ 格付別構成比率(%)

AAA	68.97
AA	19.57
A	8.85
BBB	0.00
BB以下	0.00
無格付	0.00
現金等	2.60

■ ファンド情報

最終利回り	3.89%
直接利回り	3.23%
残存年数	7.98年
修正デュレーション	6.07年

■ 債券組入上位5カ国/地域(%)

1	アメリカ	43.60%
2	中国	12.60%
3	フランス	6.83%
4	イタリア	6.16%
5	イギリス	5.66%

■ 債券種別構成比率(%)

国債・政府機関債等	97.40
社債	0.00
ABS・MBS等	0.00
円建外債	0.00
現金等	2.60

※ 比率は純資産総額に対するものです。
※ ファンド情報は、ファンドの組入債券等の各特性値（直接利回り、最終利回り等）を、その組入比率で加重平均したものです。
※ 格付別構成については、当社所定の基準で採用した格付けを基準に算出しています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

ハイブリッド・バランス型/ハイブリッド・バランス型Ⅱ

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2026年8月末現在）

ユナイテッド・マルチ・マネージャー・ファンド1（愛称：新・フルーツ王国）
ファイブスター投信投資顧問株式会社

■ 投資信託の特徴

複数の投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式、債券および為替取引等ならびにこれらに関連する派生商品（先物取引およびオプション取引等）に積極的に分散投資を行うことにより、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。
※市場動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

■ 純資産総額

3.7 億円

■ 設定日

2001年3月12日

■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.12	△ 0.52	0.71	9.30	31.05	10.54

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移

※基準価額の騰落率および推移は、税引前分配金を再投資したものとして計算しております。

■ 月末組入比率と基準価額の変動要因

内訳	組入比率（%）	騰落率（%）	寄与度（%）
アルファ戦略	49.88		△ 0.40
MASAMITSU日経225ニュートラルファンド *	24.74	△ 1.45	△ 0.38
日本好配当株ニュートラルファンド2020-01 *	25.14	△ 0.05	△ 0.02
ベータ戦略	49.49		2.71
ファイブスター・ETFグローバル・バランス *	49.49	5.66	2.71
-			
-			
キャッシュ代替			
-			
-			
-			
その他	0.63		△ 0.19
合計	100.00		2.12

※組入比率、寄与度の数字は小数第3位を四捨五入しているため、合計がそれぞれの合計欄の数字と一致しない場合があります。
* ファンド名の「（適格機関投資家私募）」を省略して記載しております。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

世界分散型/世界分散型Ⅱ

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2026年8月末現在）

大和住銀世界資産バランスVA（適格機関投資家限定）

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

主として、国内株式、国内債券、海外株式、海外債券へ分散投資を行う各マザーファンドへ投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。各資産への基本的な投資比率（以下「基本配分」）は、信託財産の純資産総額に対し、概ね日本株式：22%程度、日本債券：12%程度、海外株式：33%程度、海外債券：33%程度とします。上記の配分は、各資産を投資対象とするマザーファンドへの投資比率とします。実質組入れ有価証券の値動きや資金流出入などによっては上記の比率から乖離する場合があります。有価証券の値動きなどによる基本配分からの変動許容範囲は、原則として各資産±5%程度の範囲内とします。実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。※資金動向、市況動向によっては上記のような運用ができない場合があります。

■ 純資産総額

0.11　億円

■ 設定日

2008年1月7日

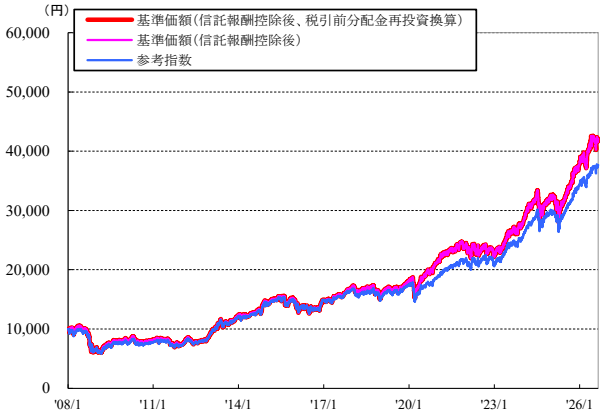
■ 基準価額・参考指数 騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.67	0.13	5.65	24.08	56.58	320.38
参考指数	1.78	2.12	5.77	21.02	52.36	276.83
差異	0.90	△ 1.99	△ 0.11	3.06	4.22	43.55

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移



※参考指数は、設定日の前営業日終値を10,000円としています。

※参考指数は、マザーファンドのベンチマークを基準資産配分で加重平均した数値です。
※マザーファンドは、投資対象ごとに、TOPIX（配当込み）、NOMURA-BPI総合、MSCIコクサイ・インデックス(除く日本、円換算)、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算)をベンチマークとしています。
※基準価額の騰落率は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入（再投資）した場合の騰落率です。
※ファンドの組入比率は各マザーファンドにおける実質組入比率（純資産総額対比）です。

■ 各マザーファンドの状況

年金日本株式マザーファンド
株式組入　上位5業種

業種名	%
電気機器	20.89
銀行業	19.07
卸売業	7.82
輸送用機器	5.69
建設業	5.10

年金日本債券マザーファンド
公社債別構成比　上位5種

種別	%
国債	52.65
事業債	38.25
ＭＢＳ	2.09
地方債	0.47
円建外債	0.36

インターナショナル株式マザーファンド
株式組入　上位5カ国

国名	%
アメリカ	57.29
台湾	8.55
オランダ	7.60
イギリス	3.93
カナダ	2.52

インターナショナル債券マザーファンド
公社債組入通貨　上位5通貨

通貨	%
アメリカドル	45.30
ユーロ	23.09
中国元(オフショア)	8.56
メキシコペソ	5.00
イギリスポンド	4.85

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

世界分散型/世界分散型Ⅱ

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2026年8月末現在）

ノムラ海外REITインデックス・ファンドVA（適格機関投資家専用）

野村アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

ファンドは、海外REIT インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行ないます。

※S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）は、S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、ドルベース）を委託会社において円換算した指数です。

■ 純資産総額

64.0 億円

■ 設定日

2006年8月22日

■ 基準価額・ベンチマーク（BM）騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△3.49	1.85	6.21	23.55	47.88	231.89
BM	△3.35	2.17	6.75	24.83	52.39	292.05
差異	△0.14	△0.32	△0.54	△1.29	△4.51	△60.17

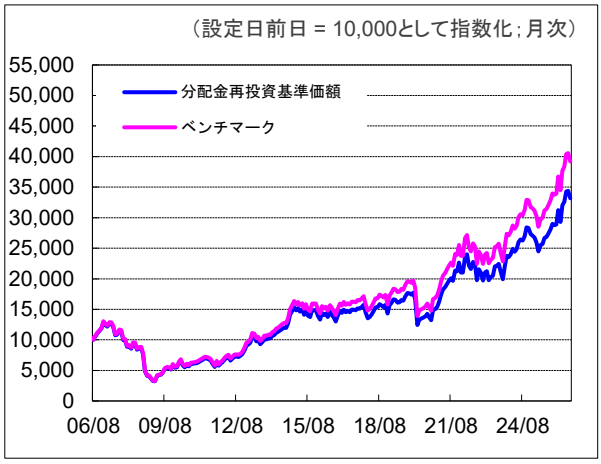
※騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

■ ベンチマーク

S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）

※「S&P先進国REIT指数（除く日本）」はスタンダード＆プアーズ ファイナンシャル サービシーズ エル エル シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード＆プアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関しいかなる意思表明等を行なうものではありません。

■ 基準価額の推移



※上記の指数化した分配金再投資基準価額の推移および左記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

■ REIT組入上位10銘柄　組入銘柄数　272

	銘柄	国・地域	%
1	WELLTOWER INC	アメリカ	9.8
2	PROLOGIS INC	アメリカ	7.8
3	EQUINIX INC	アメリカ	6.0
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	4.1
5	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3.8
6	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3.4
7	PUBLIC STORAGE	アメリカ	3.1
8	VIVMARK RESIDENTIAL	アメリカ	2.8
9	VENTAS INC	アメリカ	2.6
10	GOODMAN GROUP	オーストラリア	2.4

＊先物の建て玉のある場合は、合計欄を表示しておりません。
※各項目の割合（%）は、マザーファンドの純資産比と
　当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。
※「REIT組入上位10銘柄」の、国・地域は
　原則発行国・地域で区分しております。
※実質通貨配分は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

■ 実質通貨配分

通貨	%
日本・円	△1.3
外貨計	101.3
アメリカ・ドル	80.8
ユーロ	4.0
イギリス・ポンド	4.5
その他の外貨	12.0

■ 資産別配分比率

資産	%
REIT（リート）	99.4
先物	0.6
その他の資産	0.6
合計＊	-

■ 国・地域別配分

国・地域	%
アメリカ	80.1
オーストラリア	6.4
イギリス	4.4
シンガポール	3.2
フランス	2.0
その他の国・地域	4.5
合計＊	-

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

マネープール型/マネープール型Ⅱ

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2026年8月末現在）

フィデリティ・マネー・プールVA（適格機関投資家専用）
フィデリティ投信株式会社

■ 投資信託の特徴

本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

■ 純資産総額

56 億円

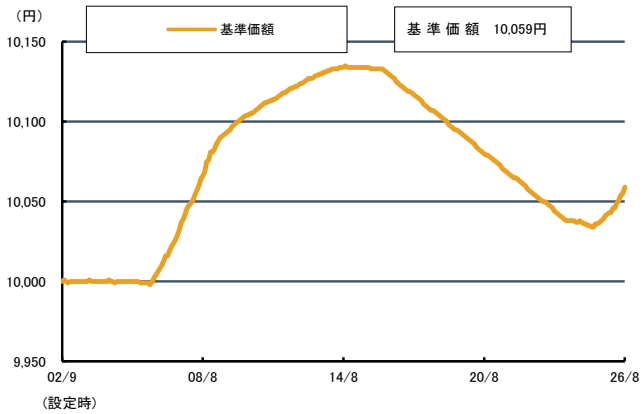
■ 設定日

2002年9月20日

■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.04	0.08	0.13	0.21	0.15	0.59

■ 基準価額の推移



■ ベンチマーク

なし

※基準価額の騰落率は、収益分配金を再投資することにより算出された騰落率です。
※基準価額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。
　ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

（2026年07月31日現在）

■ 組入上位10銘柄*

	銘柄	種類	格付	%
1	1395国庫短期証券 2026/10/19	債券	A	41.0
2	1385国庫短期証券 2026/09/07	債券	A	30.0
3	1381国庫短期証券 2026/08/17	債券	A	21.8
4	1389国庫短期証券 2026/09/24	債券	A	5.4
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
9	-	-	-	-
10	-	-	-	-

（組入銘柄数　：　4）　　上位10銘柄合計 98.2%

■ ポートフォリオの状況*

資産別組入状況（%）

債券	98.2
CP	-
CD	-
現金・その他	1.8

組入資産格付内訳（%）

長期債券格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	98.2
短期債券格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		1.8

平均残存日数	51.80日
平均残存年数	0.14年

＊マザーファンドベース、対純資産総額比率
※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。（「プラス／マイナス」の符号は省略しています。）なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨（有価証券の勧誘）を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項

投資リスクについて

当保険商品の据置（運用）期間中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動（増減）します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にともなう投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等がお受け取りになる金額の合計額が、払込保険料の合計額を下回る場合があります。保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

諸費用について

保険関係費	特別勘定の資産総額に対して毎日以下の控除を行います。 Q’sパレット：年率1.81%/365日、Q’sパレットα：年率1.5%/365日								
解約控除	契約日または増額日から7年未満の解約または減額の場合、経過年数に応じ、積立金額に対して7%～1%を解約時に積立金（減額時は減額に相当する積立金）から控除します。								
経過年数	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年未満	7年未満	7年以上	
解約控除率	7%	6%	5%	4%	3%	2%	1%	0%	
年金管理費*1	年金支払開始日以後、支払年金額の1%を年金支払日に控除します。								
資産運用関係費*2	日本株式型/日本株式型Ⅱ					年率1.1330%程度			
	日本中小型株式型/日本中小型株式型Ⅱ					年率1.2650%程度			
	海外株式型/海外株式型Ⅱ					年率0.0616%程度			
	海外債券型/海外債券型Ⅱ					年率0.0616%程度			
	ハイブリッド・バランス型/ハイブリッド・バランス型Ⅱ					年率0.6600%程度 実質年率1.2100%±0.2%程度			
	世界分散型/世界分散型Ⅱ					年率0.9845%程度*3			
	マネープール型/マネープール型Ⅱ					年率0.00935%～0.55000%程度			

*1　年金支払特約、年金支払移行特約によりお受け取りいただく場合は、記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。
*2　資産運用関係費は将来変更されることがあります。
*3　「世界分散型」「世界分散型Ⅱ」の資産運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、資産運用関係費も若干変動します。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご留意いただきたい事項

当保険商品は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者が投資信託を直接に保有されている訳ではありません。特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。当保険商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」（「特に重要なお知らせ（注意喚起情報）」）「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」などをご覧ください。ご契約の時期によっては、書面の種類や名称などが異なる場合があります。